

令和3年度

小規模多機能型居宅介護のサービス評価

事業所評価一覧表

*これまでの取り組みや関わりをスタッフ個人で振り返り、事業所全体の評価として実践状況を確認し、1項目ごとにまとめたものです。

実施事業所

社会福祉法人 東幸会 小規模多機能ホーム サンシャイン

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月27日 (17:00～)
令和3年10月27日 (17:10～)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 荻ノ沢、近藤、木村、柏崎、佐々木、前田、二又、畑中、高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	3人	2人	11人

前回の改善計画
 利用者の情報共有・統一したケアを行うため、台帳確認以外にも申し送りノート、ラインワークスの活用をし、細かな情報共有、必要とされるケア内容を利用開始日前までに把握し、統一したケアを実施していく。
 (★1) ワインワークスとは、社用スマホの中にある情報共有アプリのこと。

前回の改善計画に対する取組み結果
 利用開始前・開始後でも、収集した情報についてラインワークスを活用してスタッフ間で共有し、統一したケアが実施できるように努力している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		✓			11人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		✓			11人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?		✓			11人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		✓			11人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用開始前の情報収集、契約時に利用者担当スタッフが同行する、また、初回利用日には管理者(介護支援専門員)が送迎に同行し、本人や家族の不安を取り除くことができている。
- ・事前に台帳で利用者の情報を把握し、追加情報のある場合は、ラインワークスで発信し情報共有することができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者、家族が施設に対して求めている事の把握が出来ていない。
- ・ラインワークスの積極的な活用は一部のスタッフに限られており、スタッフが統一したケアを実施できるようにするポイントの申し送りが不十分なことがある。
- ・自分だけが出来ているという状況が多々あり、全スタッフが同様に出来る様にアドバイスが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・各スタッフは知り得た共有すべき情報を社用スマホアプリラインワークスで発信し、就業前に確認することにより、統一したケアを提供していく。
- ・家族、利用者の思いや要望を引き出すため、施設と家族の共通理解のために、送迎時には関わりを持ったり、家族間との連絡ノートを活用したり、満足したケアを提供できるよう努める。
- ・全スタッフが、ラインワークスの活用を意識し、特定のスタッフのみが発信するのではなく、各々が努力し、活用できるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月27日 (17:00～)
令和3年10月27日 (17:10～)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 荻ノ沢、近藤、木村、柏崎、佐々木、前田、二又、畑中、高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	3人	2人	11人

前回の改善計画
 コロナウイルス感染症が落ち着いたら、イベントなどで利用者・家族に声掛けし参加してもらい、コミュニケーションの場を増やし関わりを深めていく。利用者・家族の希望や目標を引き出していき、他のスタッフにもノートや会議等で情報共有し統一した支援をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 新型コロナウイルス感染症が落ち着く事はなく、家族参加の大きなイベントはできなかったが、利用者を個別に対応して楽しんでいただけるよう工夫した。利用者・家族の希望や目標を引き出すことはあまりできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?			✓		11人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?			✓		11人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?			✓		11人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?			✓		11人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・コロナウイルス感染症対策を行いながら、花見や外出 (ドライブ)、バーベキューなど工夫しながら行い、また、少人数で個別外出など個々の好みに合わせた対応を実施することができている。
- ・日々の利用者の変化に気付き、カンファレンス実施時、ケア内容の変更等を検討、実施する事が出来てきている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・大きなイベントや家族を交えての行事はできていない。
- ・利用者の「～したい」ということを引き出すことがなかなかできず、話を引き出すスキル不足と言える。
- ・担当利用者の変更になった時に、前任者からの申し送りが無いし、聞く時間も作ろうとしていない。結局、個別外出に行く事が出来た利用者としていない利用者がある。スタッフの代弁力の差が大きく、出来ない利用者が多かった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・各スタッフは送迎時など、個別に接することができる機会を活用して利用者や家族との関わりを増やし、気持ちを引き出していく。
- ・「～したい」ことや参考にすべき過去の経歴など些細な事でも日々の介護記録や台帳に追記し、当該利用者を受け持つスタッフは自己実現ができるよう時間を上手く使い支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月26日 (17:00 ~ 17:15)
令和3年10月12日 (14:15 ~ 14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 二又、柏崎、高橋、村上、木村、滝野、松橋、三浦、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	3人	4人	11人

前回の改善計画
担当している利用者について知りたい情報等があった場合、直接会って確認する事が難しい時には、管理者が家族と面談する際に確認してもらう。また、担当者会議、モニタリングに同行し直接確認する事で、家での様子等を把握することができ、利用者の現状に合わせた、より適切なケアを提供できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
担当者会議等、管理者（介護支援専門員）が家族と面談する際に同行し、自宅での様子や家族の思い等を把握し、スタッフ側から見た視点での情報発信が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			✓		11人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		✓			11人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		✓			10人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		✓			11人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		✓			10人

未回答 1

未回答 1

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・体調や気分の変化等、変わった様子があれば、気付いたスタッフが責任番もしくは看護師に報告し、指示を受け、観察が出来ている。 ・送迎時に利用状況等を家族に伝え、自宅での様子を伺い、記録に残し、全スタッフと情報共有を行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族から得られた情報は、今現在の変化やして欲しい事で、昔の話はなかなか聞き取りが出来ていない。 ・管理者と同行した際のスタッフ側からの情報発信不足で共有出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議、モニタリング等で、管理者（介護支援専門員）が自宅を訪問する際は、他スタッフの協力の下、同行させて貰う時間を作ってもらい、自宅での生活環境を把握し支援に繋げていく。 ・今現在の話に加え昔の話の聞き取りも行い、その情報はミーティングや会議等で確実に発信し、共有していく。 ・送迎等の短い時間であっても、家族との信頼を深めていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月26日 (17:00 ~ 17:15)
令和3年10月12日 (14:15 ~ 14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 二又、柏崎、高橋、村上、木村、滝野、松橋、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	3人	11人

前回の改善計画	スタッフ一人一人が、利用者、家族との会話を大切にし、送迎時の短い時間でもコミュニケーションを取るよう心掛けていく。知り得た情報は、その日のうちに台帳に追記し、常に振り返る事を習慣化していき、申し送りやミーティング等でも共有し、情報量の差を無くす。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフ全員が、送迎時の短い時間でも家族との会話を大切にし、コミュニケーションを取る事を意識して来たが、知り得た情報を台帳に追記する事は出来ていない。どんな事を書けば良いのか躊躇してしまう。申し送りやミーティング等での情報の共有は出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?			✓		11人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		✓			10人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?				✓	11人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?				✓	9人

未回答 1

未回答 2

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 家族からの情報は、随時申し送りされている。 送迎時の短い時間でも、家族との話から何か変わった事、困っている事等の情報を得ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ミーティング (14:15からの) が、出来ていない。習慣になっていない。 新しい情報を引き出し、台帳に追記出来ていない。何を追記するのか分からない。 民生委員の存在、地域の資源等把握していない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 施設内とは異なる自宅での過ごし方、これまでの生活スタイル等を家族から聞き、ミーティング等で情報共有し、台帳に追記していく。特に新しい利用者の情報は、小さな事でも吸い上げていき、家族との信頼関係も築いていく。 民生委員の活動や、地域の資源等は、ネットや研修で、学び知識を各々が付けていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 12・20 日 (14:15~15:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 前田、荻ノ沢、三浦、滝野、木村、松橋、近藤、高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	7人	3人	10人

未回答 1 名

前回の改善計画
 地域資源について各自理解する。
 台帳へ記載していくべき事柄を理解し、利用者や家族と細やかにコミュニケーションを取る事で、利用者についての情報の聞き取りをしていく。重要な内容や変化があれば、その日のうちに、台帳へ追記、修正を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
 地域資源を理解出来ず、活用出来ていない。利用者、家族との細やかにコミュニケーションを取り情報の聞き取りは出来ている。緊急連絡先変更などの重要な内容は台帳への追記や修正は直ぐに出来ている。その日のうちには出来てはいないが、利用者、家族から得た過去の生活歴は一部スタッフのみ台帳への追記、修正が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?				✓	9人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		✓			11人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		✓			11人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		✓			11人

未回答 2 名

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用キャンセル時は代替日の提案を行っている。
- ・家族へ連絡や話しをすることで利用者、家族の状態に合わせて利用調整が出来ている。
- ・コロナウイルス感染症ですべては叶えられないが、出来る限り、「泊り」、「通い」、「訪問」の要望に応じ事が出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域の源を理解出来ず、活用出来ていない。
- ・申し送りシートで現在の変化のみに注目してしまい、台帳を手にする習慣がない。
- ・利用者、家族から過去の生活歴の情報の聞き取りが出来ず、台帳へ追記、修正が出来ていない。
- ・新人スタッフへ担当利用者の台帳への追記、修正を行う事の指導が至らず、理解していなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・現在の変化のみを注目するのではなく、利用者や家族に過去の生活歴を引き出すようなコミュニケーションを行い介護記録に残していく。その日のうちに追記、修正が難しい為、各利用者担当者が介護記録の見直しの際に台帳へ追記、修正を行う。新人スタッフに利用者担当が付いた際は台帳への追記、修正の指導を忘れずに行う。
- ・地域の資源について、ネットや研修で、学び知識を各々が付けていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 12・20 日 (14:15~15:30)

6. 連携・協働

メンバー 前田、荻ノ沢、三浦、滝野、木村、松橋、近藤、高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	1人	8人	10人 未回答1名

前回の改善計画	この地域や利用者様の居住地域の活動・行事について情報収集をする。コロナウイルス感染症拡大状況によるが、参加可能であれば積極的に出向いていく。また、コロナウイルス感染症が落ち着いたら、地域住民が気軽に来設して頂けるようなイベントを企画・開催し交流を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナウイルス感染症拡大防止の為、地域住民、家族参加型のイベント等を事業所主催で開催する事は出来なかった。だが、コロナウイルス感染症対策をしつつ、出来る範囲で地域の活動・行事に参加出来る様に努力した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等) との会議を行っていますか?		✓			11人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?				✓	11人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		✓			11人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?				✓	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対策をしながら、最低限の会議は行えている。 ・コロナウイルス感染症対策をしながら利用者の自宅に出向き、他機関との会議を行う事が出来ている。 ・町内会から依頼されたポスターへのラミネート加工、事業所の掲示板でのお知らせ、新しい権現様のマスク作り、また、「長者の未来を語る会」例会の講師を管理者が務めたりし地域への貢献、活動参加は出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対策の為、なるべく他者への関わりを最小限としている為、イベント、地域住民との会合や集まりを行っていない。 ・コロナウイルス感染症拡大の為、イベント自体が中止なっており参加出来ない。 ・地域住民も事業所でのコロナウイルス感染症対策を理解しており、事業所を訪れたりすることが少なくなっている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症が日常化している為、感染対策をしつつ、事業所としては大きなイベントに拘らずに、無理をせず出来る所から再開していく。事業所外活動に関しては、参加・協力の要望があった場合には出来るだけ参加・協力をしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月12、19日(15:00～、15:15～)

7. 運営

メンバー 木村、高橋、松橋、滝野、前田、二又、近藤、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	4人	4人	11人

前回の改善計画	<p>コロナウイルス感染症が落ち着いたら、以前の様にイベントを開催し、ご家族、地域の方々が遠慮なく施設内に入って来られる環境を作る。また、町内会と施設の共同開催の地域交流祭を行う。 今後もラインワークスを活用し、経験年数や勤続年数に拘らずに発信できる環境を作っていく。会議においても参加スタッフ全員が発信できるように、司会担当のスタッフが配慮していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>コロナウイルス感染症が終息せず、イベントの開催や、地域との直接の交流は出来なかったが、子供縁日のお知らせや権現様のマスク製作などを通して、地域との交流につなげる事は出来た。 ラインワークスの活用が、まだまだ積極的ではないが、利用者や家族からの意見は直ぐに申し送りし会議でも取り上げている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?				✓	11人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		✓			11人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?				✓	11人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?				✓	11人

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者や家族からの意見や要望は直ぐに申し送りし会議でも取り上げている。 会議時に司会担当スタッフが参加スタッフの発言を上手く引き出す事が出来ている。 子供縁日のお知らせ、権現様のマスク製作など町内会に参加出来ている。 スタッフとして意見する場が会議やミーティング等で設けられているので発言しやすい。
--------	--

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス感染症が終息せずイベントの開催、地域との交流は出来ていない。 意見の発信、ラインワークスの活用が上手く出来ていないスタッフがいる。 ラインワークスの活用で発言しやすくなったが、事業所のあり方についてまで意見を述べる事が出来なと思っている。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス感染症が終息していないが、地域や家族との交流は限られたことでも継続していく。 ラインワークスの活用を全スタッフが積極的に行い、スタッフ間の情報交換を今まで以上にやっていく。 家族や地域の方からの要望は、ラインワークス、申し送り等で速やかに発信し、適材適所で動けるスタッフが対応して行く。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月12、19日(15:00～、15:15～)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 木村、高橋、松橋、滝野、前田、二又、近藤、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	6人	2人	2人	11人

前回の改善計画
ヒヤリハットの様式を変更した事で、スタッフの気付きが多くなりリスクマネジメントに取り組むことが出来ているが、意識不足のため、同じヒヤリハットを繰り返しているの、朝の申し送り時にヒヤリハットの内容を3日間申し送り全スタッフで周知し、同じヒヤリハットが発生しない様、意識付けて行く。
前回の改善計画に対する取組み結果
ヒヤリハット様式を変更した事により、書きやすくなり、報告の件数が増加し、ちょっとした気付きも増えているが、ヒヤリハットを書いただけで、申し送りがされていないことが多々あり、他スタッフの気付きの機会を失っている。3日間申し送り全スタッフで周知する事が徹底することなく、同じヒヤリハットが繰り返される事が続いている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		✓			11人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか			✓		11人
③	地域連絡会に参加していますか				✓	11人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか			✓		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットは書きやすくなり、記入件数が増えた事で“気付き”が多くなった。 内部研修には毎月参加している。 オンライン研修の設備が整い、希望者は受講する事が出来ている。 スタッフがテーマごとに資料作成、講師を担当し、会議時に勉強会を開き、スタッフ全体のスキルアップを図っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットの内容を申し送り出来ていない。 コロナウイルス感染症の為、外部研修への参加、地域連絡会への参加は出来ていない。 与えられた課題以上の事は出来ておらず、現在以上のスキルアップをしようと思う事が出来ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットを書いたら、同じ事を繰り返さない為3日間申し送り全スタッフで周知する。 通常業務に追われ、気持ち、時間に余裕を持たずに、研修への参加が消極的になってしまっているが、スタッフ相互にフォローし合い、声掛け合う事で時間と余裕を作っていき、研修へ積極的に参加していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月19・20日(14:20～14:45)

9. 人権・プライバシー

メンバー 前田、二又、荻ノ沢、近藤、三浦、松橋、木村、柏崎、高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	2人	3人	11人

前回の改善計画
 個人情報を守る事が出来ているスタッフが、出来ていない人を見かけた時には注意をしていく。さらに、利用者の前に個人情報が載った物を利用者の前で広げないようにし、また、広げた時には放置してその場を離れないことを徹底する。プロ意識を持ち、利用者へ寄り添い、尊厳を忘れずに声掛け・ケアを行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 スタッフの意識付けが、不足な部分もあるが出来ている事が増えている。個人情報には細心の注意を払い、意識して行動し、また、出来ていない所等、周りのスタッフがフォロー出来る様になっている。フォロー後は指導も出来ていると感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない		✓			11人
②	虐待は行われていない		✓			11人
③	プライバシーが守られている		✓			11人
④	必要な方に成年後見制度を活用している				✓	8人
⑤	適正な個人情報の管理ができている		✓			11人

未回答3人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・以前よりは言葉での抑制が減っており、意識していると感じられる。
- ・個人情報を扱う書類のファイルには二つ折りのファイルに変更し、さっと置いても個人情報が見えにくいように工夫している。
- ・誰かが見えるような状況で個人情報が置いてあっても、気付いたスタッフが片付け、放置されている時間が無くなった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・訪問や送迎が重なり、少人数でホールを見守る時等、自分本位になってしまい、利用者のペースに合わせて、ケアをしてしまう事がある。
- ・耳が聞こえる利用者にも、大声でトイレ誘導の声掛けをしてしまう。
- ・成年後見制度を利用対象の利用者が居ない。どの様な人が制度を受ける事が出来るのか自体が分からない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・訪問や送迎が重なり、少人数でホールを見守る時に対応出来るスキルを経験から身に付けていく。また、人権、プライバシーの保護や、侵害がどの様な場面で行われ、何が悪いのか自施設内での事例を会議の時間で勉強会を繰り返していき、知識や意識付の向上を図る。9月から始めた職員セルフチェックを毎月実施、活用し、小さな芽から摘み取れるようにしていく。事業所内での解決が難しい場合は、高齢者虐待防止委員会に報告し、全体の問題として捉え検討していく。
- ・成年後見制度について、ネットや研修で、学び知識を各々が付けていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 東幸会	代表者	伊藤 友子	法人・ 事業所 の特徴	八戸市常番町に位置し、中心街から徒歩5分の閑静な住宅地にあることから、交通の便も良く、市立図書館バス停より徒歩1分と、面会者や来客者にも便利な場所に建っています。地域活動としましては同町内会への加入はもとより、地域住民の介護相談へも積極的に取り組んでおります。
事業所名	小規模多機能ホーム サンシャイン	管理者	前田 靖子		

出席者 (書面)	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>◆一つの項目ごとに担当制にして行う事は継続。大まかな予定はあったが、意見の擦り合わせに対しての細やかな予定も組み、事前に予定が分かる様にする。よって、意見を纏めておく事が出来、時間短縮を図る。予定表は、管理者が時期を見て作成。その予定に沿って、勧めていく。</p>	<p>●サービス評価未経験のスタッフと、経験済みのスタッフと2人組で2項目ずつ担当して実施しました。意見の擦り合わせもスムーズに行えました。朝礼時に、担当者が意見の擦り合わせを行う事を伝え、時間を作り、出来る様に皆が協力し合う事が出来たと思います。</p>	<p>*通常業務で忙しい中、意見の擦り合わせ等大変だったと思いますが、今回の事業所評価に限らず、日頃のスムーズな業務や利用者様のよりよいケアに繋げるためには、スタッフ間の意見交換や、情報共有の機会を積極的に持つ事が大切だと思います。 *未経験者と経験者のスタッフが2人一組で担当する事は経験の伝承に繋がる事なので、継続して行ってください。</p>	<p>★サービス評価未経験のスタッフと、経験済みのスタッフと2人組で2項目ずつ担当して実施は継続。意見の擦り合わせも、朝礼時に、担当者が擦り合わせを行う事を伝え、実施出来る様に皆が協力し合い時間を作る。意見の擦り合わせ時、または会議の時だけではなく、日頃から意見交換等行い、意見を出しやすい環境を作っていく。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>◆新規利用者様が増えれば、一方通行等分らないご家族も増えるので、ポスターを掲示しているが口頭でも伝えていく。 ◆駐車場出口の砂利が抉れ、道が悪くなっていると駐車場管理者よりお話あり。修繕費用を支出し対応したが、今後は悪路にならない用に、砂利道を通る時にはアクセルワークに気を付け、悪路にならない様にしていく。</p>	<p>●ポスター掲示は継続し、口頭でも伝える事で、逆走は減っています。 ●駐車場に関しては、修繕後1年も経たずに再度悪路になってしまいました。砂利を敷き直したただけだったので、家族車両と、施設車輛の出口進行方向を変えて対応しましたが、あっという間に水溜まりがいくつも出来ており気にはなっておりましたが、再度、駐車場管理者から指摘があり、現在、アスファルトにする為法人側で業者依頼中です。</p>	<p>*施設の立地条件的に大変な所もあると思いますが、事故やトラブル防止の為、今後も対応を継続して頂ければと思います。 *度々悪路になる等、管理面から舗装を考えるべきだと思います。</p>	<p>★悪路の部分は、複数の業者から見積もり取っており、春先には舗装工事を実施する予定。 ★逆走車やバックで入って来る車両は無くなりましたが、ポスター掲示は継続していく。 ★最近、近所の子供が玄関前の通路を通り抜ける事があり、送迎車と接触しそうになる危ない場面がありました。車両だけではなく、歩行者への注意喚起も行っていく。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆コロナ感染症が落ち着くまでは現状を維持していき、小規模通信、ホームページを活用し、活動内容の報告やアピールをしていく。 ◆コロナ感染症の状況を見ながら、地域との関わりを持てる様に出来る事から再開していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模通信のホームページ更新は出来ておりません。通信自体は作成していますが、特定の方々（家族）に見て頂きたい内容になっている為、閲覧板にも依頼をせずに終わっております。 ●コロナ感染症の為、外部との関りを最小限にしていた為、何も実施出来ておりません。 	<ul style="list-style-type: none"> *無理をせずに出来る範囲で取り組んで下さい。 *外部との関りは、コロナ感染症の感染状況を見ながら進めるべきと考えます。 *地域との関わりを今後も持ち続けたいという思いが伝わって来ました。コロナが落ち着くまでは。このまま感染対策優先でよろしいかと思ひます。 	<ul style="list-style-type: none"> ★コロナ感染症対策を実施しつつ出来る事を出来る範囲で行っていく。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用者様の思いや希望を聞き出す事は継続していく。 ◆コロナ対策をしっかりと行った上で、利用者様の希望に合った行事、レクを取り入れて行き、施設内において少人数で行う事、等をスタッフ全員で検討し進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の会話から気持ちを引き出し、行きたい所などコロナ感染症の感染状況を見ながら実施出来た。少人数でのドライブや、レクも実施しており、コロナ禍だったが、出来る事は少しでも行う事が出来たと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> *コロナ禍の外出が出来ない中で、昼食を弁当箱に詰めて外出する等工夫が見られます。提案として、利用者自身が自分の家族、もしくはスタッフに感謝の気持ちを伝える、文字を書いて渡すなどの“ありがとうね会”開いてみませんか。励みになると思います。 *感染対策を行いながらの行事やレク実施、お疲れ様です。通常業務を行いながら利用者様とゆっくり向き合って思いを引き出す事は大変な事と思ひますが、今後も取り組みを継続して頂きたいと思ひます。 	<ul style="list-style-type: none"> ★個別外出で利用者様所有の山に行つて山菜をスタッフも一緒に採りに行く、ヒマワリが見たい等、希望を引き出しながら、コロナ感染症を確認し個別に対応する。 ★コロナ感染症だから何も出来ない、ではなく、どうしたら安心して安全に実施出来るかを検討していく。 ★令和4年5月1日は開設10周年となる為、利用者様、ご家族、近隣の皆様に“ありがとう”と伝えられる機会を作る。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆コロナ感染症に伴い、会議を開催する事も危ぶまれるが、開催時には、勤務スタッフを多めに配置し、スタッフが会議に参加出来る様に配慮し実施していく。 ◆会議に参加される方々の“知りたい事”を聞き取り、その内容に応える様にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●感染状況が昨年より悪化した為、今年度は一度も対面で会議を行う事は出来ていません。今後、集まり会議が出来た時には、スタッフも会議に参加出来る様に業務や人員に配慮し実施していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> *長期間、対面会議が開かれていない事から、再開された場合は、スタッフの皆様の現状に対する意見などを提案されたいと思ひます。 *感染状況が落ち着き、対面での会議が開催できるようになる事を期待しております。 *令和4年度こそは、子供達も参加する地域交流祭、並びに町内会主催の子供縁日、地域交流サ 	<ul style="list-style-type: none"> ★コロナ感染症発生状況を確認し、対面会議を行う。 ★運営推進会議を対面で行い、地域交流祭、子供縁日等、の話し合いを勧め実施する。 ★対面会議時には、勤務を調整しスタッフも参加出来る様にしていく。

			<p>ロンを開催出来る事を願っております。この2年の間に子供達も成長しています。多世代交流で子供達に元気を貰いましょう。</p>	
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>◆大規模災害において、この地域における当事業所の役割を具体化し改めて災害計画を立案し地域にもお知らせする。</p>	<p>●BCP（業務継続計画）を作成し、ガイドラインに沿って変更等を行っている。災害時のBCPについては、集まり会議が出来た時に、確認して頂き、要望を確認し、可能な限り対応出来るか検討し、追加して行きたいと思っています。</p>	<p>*災害時の地域における事業所の役割を明確にし、地域に対して示しておくことは、地域住民の安心感や事業所に対する信頼へと繋がると思います。今後も積極的に取り組まれて行く事を期待しております。</p> <p>*対面の運営推進会議の中で内容を聞きたい項目の一つです。</p>	<p>★BCP（感染症・災害時）は変更時、常に更新していく。法人や特養サンシャインが関わる部分もある為、出来上がり次第確認とすり合わせを行っていく。</p>